

# おおあらい

臨時号

放射線量率及び放射能濃度の測定経緯と今後の計画

平成 24 年 1 月 25 日発行

Index

- ① これまでの測定の経緯……………P.2～4
- ② 今後の測定計画……………P.5～6



## 町民の皆様へ



大洗町長 小谷隆亮

東日本大震災から10カ月が経ちました。現在、大地震と津波による被害からの復旧・復興工事を着実に進め、他の市町村よりも早いスピードで復興へと歩んでいる所です。

本年は復興元年と位置づけています。単なる現状復旧ではなく、従来から本町が抱えている諸課題にも対応し、震災以前よりも地域が元気になるよう、あらゆる分野の復興事業に取り組んでまいります。

一方では、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故によって放出された放射線や放射性物質による健康への影響を、多くの町民の皆様が心配されていることと思います。

この「広報おおあらい臨時号」では、事故発生直後から今まで、大気中、小中学校、幼稚園、保育園等の放射線量率や、水道水、海水、農水産物の放射能濃度の測定を行い、その結果については、安全であることを確認し、速やかにホームページ等で公表してきましたが、あらためて、今日までの測定の経過と結果についてお知らせいたします。

今後は、300メートル区域ごとの測定や一般住宅地、学校給食等の測定を実施し、更なる安全・安心の確保に努めてまいります。

今後とも、原子力事故による影響などに適切に対応するとともに、国の復興関連予算や復興特区制度の有効活用を図りながら、「安全で安心して暮らせる大洗町」の再生のために全力で取り組んでまいります。

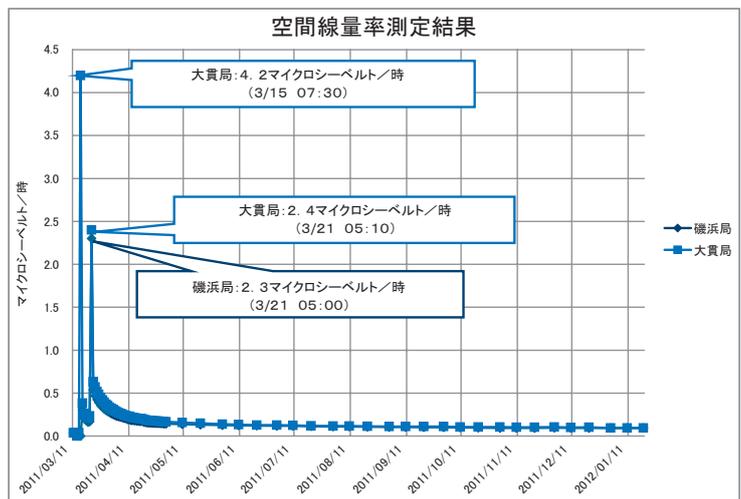
# 放射線量率及び放射能濃度の測定経緯と今後の計画

## 1 これまでの測定の経緯

東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故により拡散した放射性物質による環境への影響を把握し、町民の不安を解消するために、平成23年3月11日の事故発生直後から大洗町は学校等の空間線量率の測定や水道水、農水産物、海水、焼却灰の放射性物質濃度の測定を行い、安全であることを確認し、町等のホームページで公表してきました。

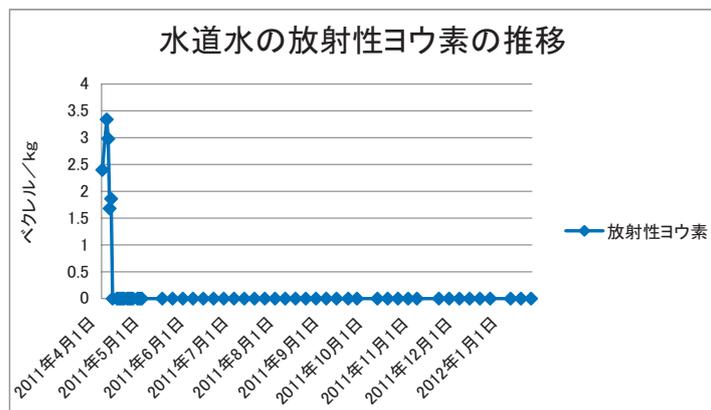
### 1-1 空間線量率測定局モニタリングデータ

平成23年3月11日以降、監視を強化しています。事故直後の3月15日に大貫局で毎時4.2マイクロシーベルトを観測しましたが、それ以降、空間放射線量率は減少し続けています。平成24年1月19日現在の値は、大貫局、磯浜局ともに毎時0.093マイクロシーベルトです。なお、事故前のデータは、毎時0.04マイクロシーベルト程度でした。



### 1-2 水道水の測定結果

平成23年4月1日から(独)日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターに依頼し、測定を開始してきました。放射性ヨウ素については、4月4日に最大3.34ベクレル/kgが検出されましたが、4月8日以降は不検出です。放射性セシウムについては、4月1日から毎回不検出ですので、水道水は安心してご利用いただけます。

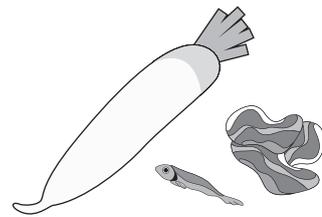


※ 暫定規制値 放射性ヨウ素 300ベクレル/kg (飲料水)  
放射性セシウム 200ベクレル/kg (飲料水)

※ 水道水の放射性ヨウ素が100ベクレル/kgを超える場合には、乳幼児調製粉乳を水道水で溶かして乳児に与える等、乳児による水道水の摂取を控えることとされている。

## 1-3 農水産物の測定結果

平成 23 年 4 月 2 日から、大洗町、茨城県、漁協で随時測定を実施しています。12 月 2 日時点で 27 品目、48 検体の検査を行い、全て暫定基準値以下であることを確認しています。



<大洗町における農水産物の放射性物質検査数>

	品目数	検体数	品目名
水産物	20	39	コウナゴ、カタクチイワシ、マコガレイ、ノレソレ、クロメバル、ウスメバル、ホッキガイ、シラス*、あわびもどき、ほっけ開き干し、シラス干し*、ツノマタ、マイワシ、ババガレイ、ヒラメ*、イワシ*、スズキ、アラメ*、ヒジキ(生)*、タコ(生)*
野菜類	6	8	いちご、六条大麦、玄米、粟*、ダイコン、カンショ
肉・卵	1	1	牛肉

※大洗町実施分については、(独)日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにて測定

<暫定基準値>

種類	国の飲食物の暫定基準値 (ベクレル /kg)	
	野菜 (根菜・芋類を除く)	魚介類
放射性ヨウ素	2000 ベクレル /kg	2000 ベクレル /kg
放射性セシウム	500 ベクレル /kg	500 ベクレル /kg

## 1-4 大洗沖海水の測定結果

平成 23 年 4 月 6 日から (独) 日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターに測定を依頼し、原則毎週 1 回測定を実施し、平成 24 年 1 月 13 日までに 27 回実施しています。平成 24 年 1 月 13 日測定の結果は、放射性ヨウ素、放射性セシウム 134、放射性セシウム 137 について、全て「不検出」となっております。

なお、茨城県において、海水浴場の海水測定を 3 回実施し、全て「不検出」となっています。



<採取地点図>



## 1-5 学校等の空間線量率測定結果

平成 23 年 5 月 16 日から、(独)日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターの協力のもと、小中学校、幼稚園、保育園等の空間線量率測定を毎月 1 回実施しています。

文部科学省が、目安として示している、毎時 1 マイクロシーベルト (中学校においては高さ 1 m、小学校・幼稚園・保育園については高さ 50cm) を十分に下回っていますので、健康に影響のあるレベルではありません。



<平成 23 年 12 月 26 日測定結果>

学校等の名称	測定場所 (場所・高さ)		測定値
			(マイクロシーベルト/時間)
祝町幼稚園	園庭	50 cm	0.20
磯浜小学校	校庭	50 cm	0.15
祝町小学校	校庭	50 cm	0.16
大貫小学校	校庭	50 cm	0.17
夏海小学校	校庭	50 cm	0.15
第一中学校	校庭	1m	0.13
南中学校	校庭	1m	0.16
第一保育所	園庭	50 cm	0.11
こすもすくーる	園庭	50 cm	0.14
かもめ保育園	園庭	50 cm	0.14
ひじり保育園	園庭	50 cm	0.12
滝口保育園	園庭	50 cm	0.14
恵泉保育園	園庭	50 cm	0.16
あかし保育園	園庭	50 cm	0.13
ドリーム学童	園庭	50 cm	0.17

## 1-6 一般廃棄物焼却施設における焼却灰の放射性物質の測定結果

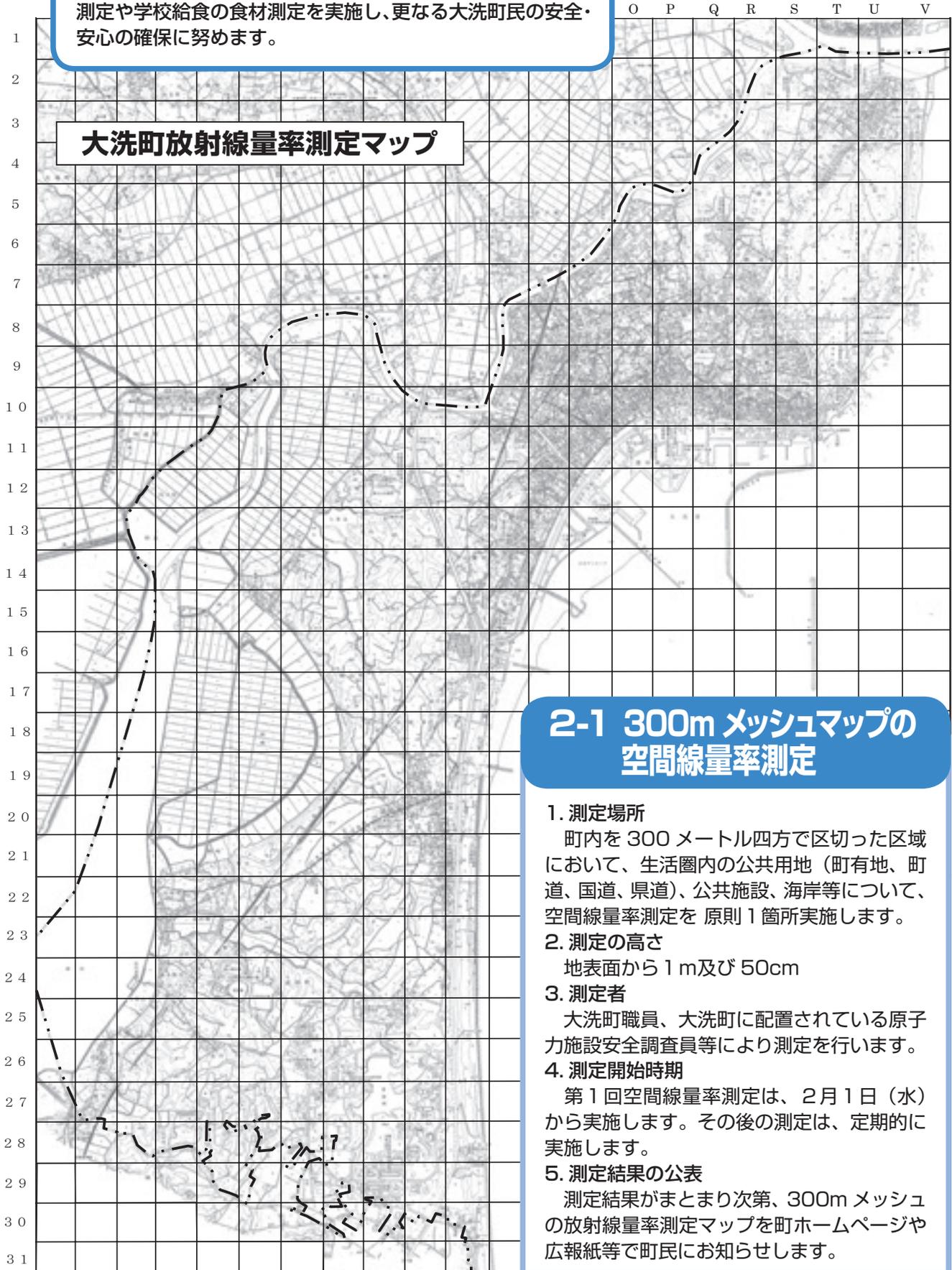
平成 23 年 7 月 22 日に、茨城県において実施しました大洗・鉾田・水戸環境衛生組合 (クリーンセンター) の焼却灰の放射性物質については、最終処分場において今まで通りの方法で処分が可能となっている暫定基準値 8,000 ベクレル/kg 以下となっています。

施設名	実施主体	測定日	放射性セシウム濃度 (ベクレル/kg)
			混合灰 (飛灰+主灰)
大洗・鉾田・水戸環境衛生組合 (クリーンセンター)	茨城県	平成 23 年 7 月 22 日	2,600

## 2 今後の測定計画

300m メッシュマップの空間線量率測定、一般住宅地の測定や学校給食の食材測定を実施し、更なる大洗町民の安全・安心の確保に努めます。

### 大洗町放射線量率測定マップ



### 2-1 300m メッシュマップの空間線量率測定

#### 1. 測定場所

町内を300メートル四方で区切った区域において、生活圏内の公共用地（町有地、町道、国道、県道）、公共施設、海岸等について、空間線量率測定を原則1箇所実施します。

#### 2. 測定の高さ

地表面から1m及び50cm

#### 3. 測定者

大洗町職員、大洗町に配置されている原子力施設安全調査員等により測定を行います。

#### 4. 測定開始時期

第1回空間線量率測定は、2月1日（水）から実施します。その後の測定は、定期的実施します。

#### 5. 測定結果の公表

測定結果がまとまり次第、300mメッシュの放射線量率測定マップを町ホームページや広報紙等で町民にお知らせします。

## 2-2 一般住宅地の測定

300m メッシュの放射線量率測定マップの公表後、平成 24 年 3 月から一般家庭の敷地（一般住宅地）内の空間線量率測定を希望者に対して、大洗町職員等が訪問し測定します。申し込み等については後日、広報紙等でお知らせいたします。



## 2-3 学校給食の食材測定

安全安心な学校給食食材を提供するため、2月1日から学校及び保育所等の給食食材の検査を実施します。

検査結果は町のホームページで公表します。

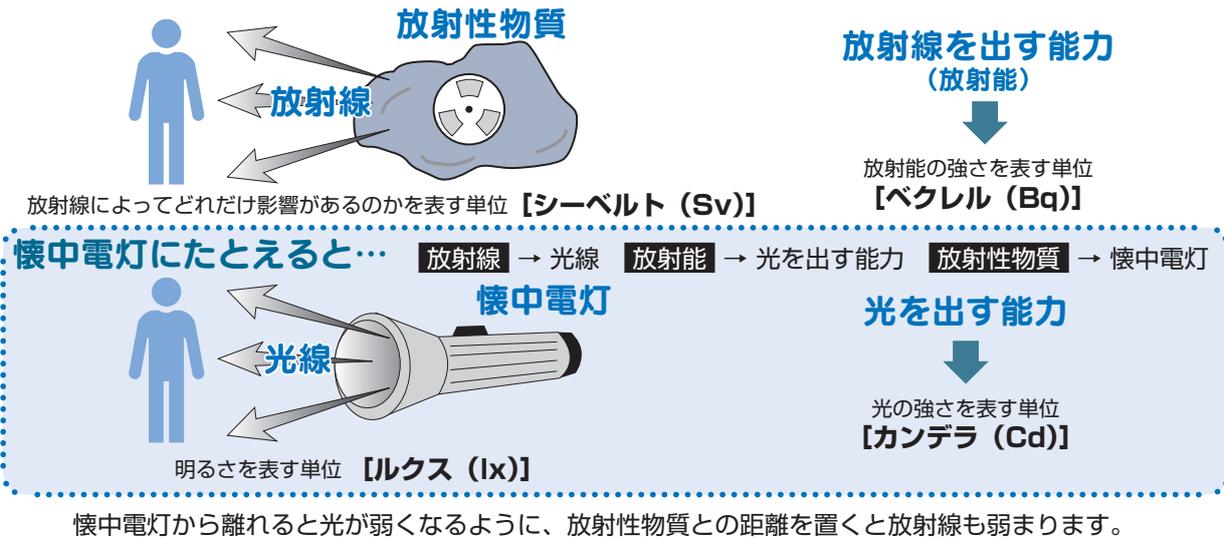


測定結果の詳細は町ホームページでもお知らせしています。

[ホームページ](http://www.town.oarai.lg.jp) <http://www.town.oarai.lg.jp>

## 放射線・放射能・放射性物質という用語について

放射線とは目には見えないエネルギーの光線のようなもので、放射能とは放射線を出す能力や性質をいい、放射性物質とは放射能のある物質そのものを表します。（放射能を放射性物質の意味で使うこともよく見受けられます。）



## 放射能と放射線量の単位について

	単位	記号	解 説
放射能	ベクレル	Bq	放射性物質の放射能の強さを表す単位。
放射線量	シーベルト	Sv	人体が放射線を受けたとき、その影響を表す単位。

### MEMO

0.001 シーベルト (Sv) = 1 ミリシーベルト (mSv) = 1,000 マイクロシーベルト (μSv)

ベクレルとシーベルトの関係の一例を示します。\*セシウム 134 とセシウム 137 が 50 ベクレルずつあるとして

#### 外部被ばくの場合

セシウム 100 ベクレル\* に対して  
1m の位置で 24 時間 365 日、人がいると

→ 0.1 マイクロシーベルト  
の放射線量を受ける (被ばくする)

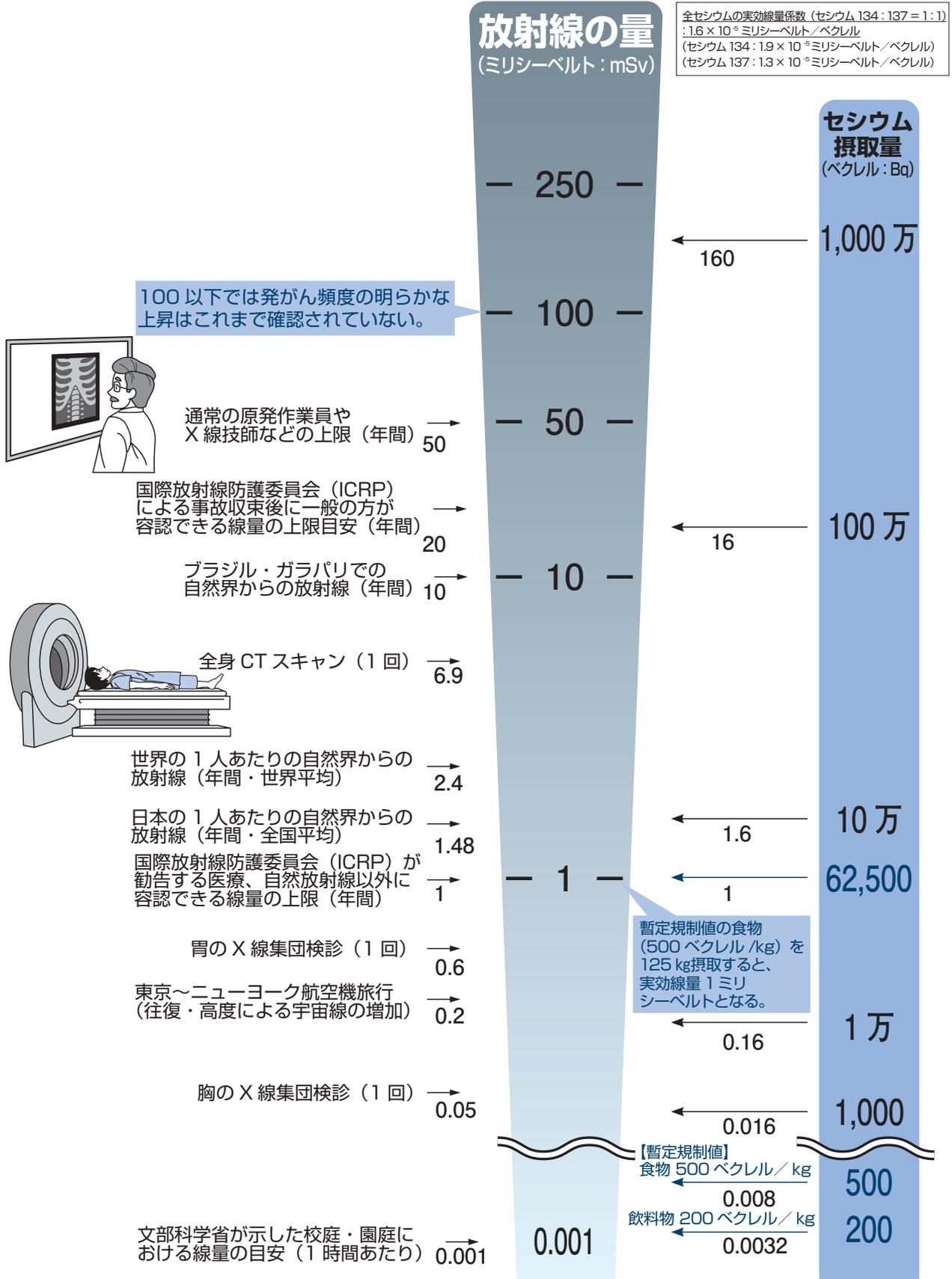
#### 内部被ばくの場合

セシウム 100 ベクレル\* /kg の食品を

1kg 食べると → 1.6 マイクロシーベルト

500g 食べると → 0.8 マイクロシーベルト  
の放射線量を受ける (被ばくする)  
(成人 50 年間の積算被ばく量)

# セシウムを摂取した場合に人体が受ける放射線量



本図は、セシウムを体内に取り込んだ場合に人体が受ける放射線量を表したものであり、例えば、500ベクレルのセシウムを体内に飲食により取り込んだ場合に人体が受ける放射線量は、0.008ミリシーベルトとなります。

# 原子力事故に伴う相談窓口一覧

## ●【茨城県】 茨城県庁 ☎029-301-1111 (代表)

### 原子力損害賠償等に関する電話相談

- ・ ☎029-301-3200 (平日 9時から 17時)
- ・ ☎029-301-5974 (土日・休日及び平日の 17時から翌日 9時)

(対応する相談内容)

- ・ 原子力損害賠償制度について
- ・ 原子力損害賠償紛争審査会 (文部科学省所管) が定める指針について
- ・ 損害賠償に係る手続きについて など

### 原子力災害での健康相談

項目	担当	連絡先
原子力災害での健康相談	健康相談ホットライン 9時から18時 (平日、土曜日、日曜日)	☎0120-755-199
放射線被ばくの健康相談窓口	放射線被ばくの健康相談窓口 9時から17時 (平日)	☎043-290-4033

### 食品の安全に関する相談

項目	担当	連絡先
食品及び飲料水の安全に関するご相談	水戸保健所 (各県内保健所) 8:30~17:15 (平日のみ)	(水戸) ☎029-241-0100 (代表)
	保健福祉部 生活衛生課 8:30~17:15 (平日のみ)	(食品) ☎029-301-3424 (飲料水) ☎029-301-3431

### 農産物の安全等に関するご相談

項目	担当	連絡先
農産物の安全に関するご相談	農林水産部 農業経営課	☎029-301-3844
農産物の損害賠償に関するご相談	農林水産部 農業政策課	☎029-301-3828

## ●【大洗町】 大洗町役場 ☎029-267-5111 (代表)

項目	担当	内線
空間線量率測定に関する相談	生活環境課 地域安全係	(内線 247、241)
学校給食の食材測定に関する相談	学校教育課 学校教育係	(内線 352、353)
農水産物の測定に関する相談	農林水産課	(内線 344、342)

